

東村山稲門会ニュース 第30号

H11年 9月 4日発行
発行責任者、大西 幸夫
編集局 塩見, 田口
井垣, 伊藤
事務局、042-394-6951 小亀 輝雄

会からのお知らせ

◎ 定例役員会

日時：10月2日(土)

14.00～14.30 発送準備(有志による)

14.30～16.30 役員会

場所：東村山市商工会館、3F大会議室

東村山市本町2-6-5 ☎394-0511

東村山駅東口より徒歩3分

なお、一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加ください



◎ 関連外部会合への出席

① 8月27日(金) 早稲田大学野球部優勝祝賀会小亀、出席

② 9月22日(水) 武蔵野稲門会年次総会：大西、出席予定

③ 9月29日(水) 三多摩稲門連合会ゴルフコンペ
成績より懇親を主体に考え、井垣、大西、木谷、深川が参加予定

◎ 早稲田大学ホームカミングデーのお知らせ

開催日：10月24日(日)

内容：(1)式典：10.30～12.00 戸山キャンパス、記念会堂

(2)校友大会・園遊会：12.30頃～15.00頃

西早稲田キャンパス、大隈講堂、大隈庭園

大隈ガーデンハウス

催物①エクステンション特別講座：13.00～14.00

『江戸のころ・江戸の笑い』 14号館1F, AVホール1

②博物館ミニレクチャー 11.00. 13.00. 14.00

会津八一記念博物館 各20分程度

③写真展『写真で見る早稲田50年-懐かしのあの頃』

2号館1Fホール (昭和25年、30年、40年、50年)

④キャンパスツアー

12.30. 13.00. 13.30. 14.00

⑤校友大会：13.45～ 大隈講堂

特別対談『生涯学習は楽し』 澤池久枝×露木茂

その他、バンド演奏、福引き抽選会など

今年の招待者は昭和25年、30年、40年、50年の卒業生ですが、その年度以外の方も参加自由です、特に来年招待予定の方は、予め様子を知るため今年参加することをお奨めいたします。

◎ 会員消息

○ 小亀輝雄さん：この度、早稲田大学から賛助員の称号を授与されました。

◎ 新入会員紹介

飯塚 輝夫さん S28年、理工卒

東村山市秋津町1-1-42

☎042-392-1804



山とハイキングの会お知らせ

第3回は棒の嶺登山 (少しは高い山にのぼりましょう!!)

お待たせしました。第3回山とハイキングの会は奥多摩と奥武蔵の境界、海拔969メートルの棒の嶺(別名棒の折山)を登ります。JR青梅線の川井駅より入り、ワサビ田を見て急な登りを約2時間で広い山頂に出ます。帰りは30分急な丸太の階段を下りると、あとは南山腹を経て、林道を名栗川橋までたどるコースです。初級の中くらいのコースで、小学生、女性でも歩けます。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

山行の日程—コースは下記の通りです。

実施 日; 9月18日(土) 雨天中止

集合 場所; 西武線東村山駅内1・2番線ホーム (国分寺行き) 所沢寄り

集合 時間; 午前8時15分(8時26分発国分寺行き電車に乗車)

持 ち 物; 弁当・水筒・雨具・折りたたみ傘・敷物・タオル・靴下、下着の替え
(靴は運動靴以上、軽登山靴が最適)

コース・時 間; 東村山駅(8:26 発)～小川駅 (8:37 発)～拝島 (9:07 発)～青梅線川井駅 (9:45 着・9:59 発のバス乗車—バス(10分)上日向—徒歩 (20分) 奥茶屋—徒歩 (2時間) 棒の嶺山頂— 徒歩 (30分) 岩茸石— 徒歩 (1時間30分) 名栗川橋—バス(40分)飯能駅～西武線で帰宅
歩程; 約4時間半 費用 (交通費約1800円)

参加希望者並びに問い合わせは9月15日迄に幹事まで連絡頂きたいと思いますが当日急に都合がついて参加出来る方がおられましたら是非お出下さい。(ご家族のご参加を歓迎します)

幹事 久保 (396-4577) 土橋 (393-5708) 小亀 (394-6951)



早稲田大学・野球部「春の祝勝会並びに秋の激励会」開催される

春期リーグ戦で11シーズンぶりに優勝を飾った早稲田大学野球部の祝勝会並びに秋季リーグ戦の激励会が8月27日(金)午後6時より明治記念館で行われました。この会には都内並びに三多摩稲門会も招待を受け、当稲門会からは小亀(事務局長)が参加しました。野球部・応援部の多数のOBの参加のもとで、片岡野球部長、野村監督はじめ野球部選手40名が紹介され、秋も必ず連覇するという力強い決意が述べられました。

このところ、早稲田スポーツの低迷でOBも淋しい思いをしてきましたが、野球部の活躍を契機にして、他の部の活躍も一層期待したいと思います。なお、秋季6大学リーグ戦のシーズンチケット(全試合見られます。ネット裏1万円・内野3千円)ご希望の方は事務局までお申し込み下さい。また、早慶戦のチケット希望者もお申し込み下さい。



園芸の会



幹事 三宅 良太 TEL 042-394-5298

8月1日(日)の午後、園芸の会を催しました。出席者12名。
去る4月17日藤沢博恭氏(昭29政経)のご指導で植え付けました『さぎ草』の植木鉢を持ちより、それぞれ苦心談を話し合いました。可憐な花を見事咲かせた方は、比留間光信氏(昭31法)お一人であとは程度の差こそあれ生育不良状態でした。少々過保護過ぎたのでしょうか。やはりこれも実際経験してみないと難しいものだと痛感致しました。勿論藤沢先生の数鉢は、見るからにしっかりと育ち近々奇麗な花が観賞できるものと一同感心致しました。同氏よりお宅で育てられた種々の苗を頂きました。大切に育てて、どんな花が咲くのか楽しみです。誌上を借りまして、厚く御礼申し上げます。次回は可能な人は自分自分で種から苗を育てて持ちよることになりました。大勢お集まり下さい。

日時：10月30(土) 14時

場所：東村山市民センター 別館2階(予定)

郷土史の会



幹事 三宅 良太 TEL 042-394-5298

去る8月21日(土)午後、郷土史の会を東村山ふるさと歴史館で催しました。出席者19名。講師に両澤清氏(日本民話の会会員、東村山郷土研究会副代表)をお招きし「東村山の風土と民話」のテーマで、約2時間余り熱心にご講演頂きました。お話のレジメをご参考迄に付記致します。なお民話の語りをいくつか拝聴させて頂きました。東村山秋津の「かつぱの詫証文」同じく「嵐除けのお札」「むじなの仇討」廻田の「蛇と菖蒲湯」東京本所の「おいてけ堀」等…。

大変興味深く、語りの口調も大変お上手なのに一同感心致しました。この誌上であらためて両澤先生に御厚礼申し上げます。次回の会は幹事で相談の上いずれお知らせ致します。今後の進め方、内容等ご意見がございましたらお知らせ下さい。(394-5298 三宅)

東村山の風土と民話(以下 当日のレジメです)

I. 東村山の歩み

1. 話題となった埋蔵文化財
2. 古代の遺物と記録
3. 交通・軍事の要衝としてにぎわった中世の久米川
4. 近世の農民の生活
5. 開発の進む近代
6. 現代における東村山市の特色

II. 民話を生み出した風土

1. 自然に左右された生活と農民の願い
2. 生活の知恵と教訓
3. 不思議な体験話
4. 土地や物に結び付いた伝説・伝承
5. 移入された話が土地の生活に結び付いたもの

III. 東村山市域に残された民話

1. 東村山文化財叢書第6集「東村山の民話」に納められているもの
2. その他の民話集の中に掲載されているもの
3. 「東村山よもやまばなし」(東村山郷土史研究会編)に集録されたもの
4. その他

囲碁・将棋の会

会長：鈴木 国夫 幹事：江藤 昌明



発足会の報告と次回のお知らせ

8月22日（日）午後1時から市民センターで発足会を開きました。第一回目でもあり5～6名位での発足を予想しておりましたところ16名もの参加者があり、用意した資料が足りなくなるなど初回から盛会となりました。

自己紹介後、今後の例会を隔月（偶数月）の土曜日に市民センターで開くことが決り、役員として会長に鈴木、世話人幹事に江藤が選任されました。引き続き囲碁（12名）と将棋（6名）に分かれて熱戦が展開され、午後5時に和気藹々のうちに終了しました。

まだ参加者の段級がはっきりしないため、勝敗は参考にとどめ機をみて優勝者を決める大会方式に移行したいと考えております。なお、初心者向けに九路盤を使用してはどうかとの意見がありましたので、次回用意いたします。

第二回目の会合は、10月16日（土）午後1時から市民センターで行います。会員の皆様多数のご参加をお願いいたします。（鈴木 国夫）

テニス同好会

残暑厳しい8月29日（日）、8月の例会が東村山市立2中のテニスコートを使用して行われました。公立中学校のコートとしては、スペース・コンディションともまずまず。午前10時から2時間2面を使用し、ストローク・ダブルスといつものメニューで気持ち良い汗を流しました。

（当日参加者：江藤、三宅、山下、同夫人、市川、同夫人、田島、木谷、高橋、当間、同夫人、同娘2人、塩見夫人が初参加で頑張りました。オブザーバー：塩見、木谷夫人、計16名）。

次回はナイターテニスを企画しました。土曜日の夕べリフレッシュタイムに是非参加下さい。

記

日 時 9月11日（土） 午後6時～8時
場 所 運動公園テニスコート（B・Cコート2面）

（終了後に夕食会を予定しています。夕食会のみ参加も歓迎）

幹事 当間 TEL 391-6023

- ◎ 時折、各同好会の例会場に誘われ取材を兼ねて懇親を深めております。会員およびその家族の方で既設の同好会に関心のある方或は新たに同好会を興したい会員の方はニュース掲載の各同好会々場へ積極的にお出掛け下さい。今回は当稲門会球技の双璧のひとつであるテニスの会場にお邪魔し皆さんの妙技を拝見しました。私自身は五十数年前に熊本東郊の特攻基地で爆風を受けて一時失明し、以来動く球を身体を動かし乍ら追う球技は球がダブルため諦めましたが今回は、家内が約50年ぶりにテニスラケットを握ることとなり昔の感が戻るまでの間、時々顔出しをする予定です。夏場のスポーツの後のビールの味は格別ですが、見学者にも生きる証しのような美味でした。（塩 見）

○第6回会長杯コンペ10月16日(土)のご案内

着々と会を重ねて早くも第6回、平成11年度秋期の会長杯コンペが下記のように開催されます。
コースはあの「こだまゴルフクラブ」(埼玉)。1年前の雨中戦、4つのショートホールで延べ56回のうち一度もグリーンにオン出来ないと言う屈辱を晴らすべく、リベンジの時が巡ってきました。

今回は、過去5回のデータに基づき、ゴルフゲーム本来のアンダーハンデキャップ方式を採用したいと思います。(初参加および2回目の方は新ペリア方式を採用)

また、今回から大西会長のご好意により優勝カップに副賞が添えられる事になりました。

スタート時間もゆっくりですので、どうぞ5組のフルエントリーが成立するようお早めに奮って参加して下さい。女性の参加をお待ちしております。

記

日 時	平成11年10月16日(土) 9:45 AM スタート(5組)
場 所	こだまゴルフクラブ 埼玉県児玉郡児玉町入浅見1060
費 用	参加費 5,000円(賞品・パーティー費用) プレー費 26,500円(税・飲食費別) (カード会員は2,000円割引)
参加申し込み	9月18日(土)までに井垣 TEL&FAX396-3100へ
幹事役	深川 勝 昭 (41法)
幹事役	原 田 道 昭 (51教育)

○猛暑耐久練習ラウンド報告第2弾

②平日利用名門コース練習ラウンド・・・真夏の富士を仰ぎ見ながら高原プレー。

真夏の富士は見たいが、暑い日差しは避けたいし、と梅雨明け10日の言われそのままの猛暑続きにげんなりした面々6人(井垣、大西、大野、佐藤、深川、畔上(ゲスト))が東村山を出たのが午前5時過ぎ。2台の車が吉祥寺近くで合流して順調な東名高速の流れに乗って7時過ぎに足柄サービスエリアに到着し小休止。

真っ黒な山肌が朝日を浴びた素っ裸の富士山をバックに、先ずはみんなで記念の一枚をと井垣さんが得意のデジカメを構えたまでは良かったが、「あれ、電池切れた!」に5人は口あんぐり。

富士カントリークラブで、前日山中湖に泊まって先着していた「今朝は気温17度だったよ。」と涼しい顔の土橋さんと「やあやあ」の合体。

7:58のトップスタートを前に、雲一つない黒富士をバックに全員揃っての記念撮影。今日も何処まで暑くなるのかと、それぞれに暑さ対策も怠りなく次々とティショットを青芝に向けて打ち放っていく・・・。

この日の注目はなんと言っても、当稲門会初登場のレディ大野恵子さん(41文)。プロについて基礎を習っただけあって、スムーズなフォームから素晴らしいショットを連発。男性諸君うかうかしておれませんぞ。後半は雲も出て陽が陰り、思いの外楽にゴルフが出来たこともあり、カンバン倒れにならなかった猛暑耐久練習ラウンドその②でした。

(井垣 記)

♣ 麻雀同好会

麻雀同好会のご案内

どうやらすこし過ごしやくなりましたが会員のみなさんお元気ですか。

これからは、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋ですね。しかし

食べ過ぎには注意をしましょう。が麻雀はいくらたべても構いません。

いよいよせまってきました第9回麻雀大会を下記にご案内いたします。

酷暑のウップンを牌にぶつけ、返り討ちにあわぬよう頑張りましょう。

会員の皆様奮ってご参加お願いいたします。

記

日 時：9月19日（日）12時30分

申込締切：9月11日（土）

場 所： マージャンM

本町4-12 アメニティパレス B1

TEL: 397-5228

会 費：6千円（競技代、賞品代懇親会費用すべて含）

小野（391-9523）

田口（395-4077）

以上

♣ 絵画同好会

「恩多町に文化センターをつくる会」のE女史から連絡があり、市内既設の美術・工芸室の諸元について質問があった。同センターは久米川駅からバス便があるため「完成後は利用度が高い。」と感想を述べ、長年のご尽力に感謝した。市内の公共アトリエは需要が多く、数が増えることを歓迎したい。

景気・雇用が回復するまでの暫くの間世の中が落ち着きませんが、美術の灯を消したくありません。多忙を理由に手を休めますと退歩しますし、筆者の場合適度のノルマは年寄りの健康にプラスとなります。10月から秋のスケッチ会を再開します。研修希望の方は、長井 TEL 393-0795 or 塩見 TEL 395-3718までご連絡下さい。（塩 見）

編集後記

稲門会ニュースは記念すべき第30号を迎えました。ニュース発行は大西会長の発案で、当初は筆者ひとりで編集を担当しましたが、第12号まで2頁だった紙面が同好会活動が活発になるにつれ13号以降4頁となり現在の8頁に発展するまでの時間は短く、第29号でご披露した編集陣は、実務を大西会長を含む6名で担当しておりますが、会員の多数の方々が仕事や趣味でのパソコン、ワープロ使用が大勢となりつつありますので、逐次気鋭の方々の協力を得られるシステムを確立したいものです。

編集者が替わることで紙面の印象が大きく変わることは既に実証済みで、次号から編集後記を持ち回りとする予定です。ニュースの紙面を特定の人達に委せたままにせず、「ニュースは会員全員の物」に近づけるよう努力中です。その意味で、文芸欄投稿〔B5縦or横書き・1頁（約800字）・ワープロ浄書（俳句・短歌・詩などは手書き可）〕を試みて下さい。詳細問合せは、塩 見（395-3718）へ。